

仏のまなざし、和みの美

薬師如来坐像 平安時代

# uehara collection

## 上原コレクション名品選 1

2019年 7月6日<sup>土</sup> — 10月6日<sup>日</sup>

会期中無休

開館時間 | 午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料

\* 仏教館・近代館の共通券です

\* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい



上原美術館

Uehara Museum of Art

# 上原コレクション名品選1

個人コレクター上原昭二のまなごしによって集められた上原コレクション。そこには、個人コレクション特有の優しく穏やかな気配が満ちています。上原コレクション名品選では、収蔵品の一つを詳しくご紹介し、その魅力に迫ります。

名品選の第1弾は、2018年度に新たに収蔵した薬師如来坐像です。丸みを帯びた気品のあるお顔、繊細な衣の襷が生み出す優美な佇まいは、上原コレクションらしい雰囲気をもっています。薬壺を持ったそのお姿は病を癒す仏として信仰を集めてきました。高さは52.8cmほど、優雅ながらも小ぶりな大きさはどこか親しみをも感じさせます。

本像は平安時代、12世紀の作。一説には円派仏師による仏像ではないかと言われています。お体は華奢で薄く、小ぶりで伏し目がちな目鼻立ち、11世紀の大仏師・定朝に由来します。定朝が生きた時代には、遣唐使の廃止から百数十年を経て、日本独自の文化が開花しました。仏像の様相を完成させた定朝の作品は、「尊容満月の如し」「仏の本様」とされましたが、本像もそうした気品に満ち溢れており、中央の名だたる仏師が作ったものと考えられます。像底の修理墨書には江戸時代の京仏師による修理が記録されており、この美しい手はそのときのものと言われています。

仏教館では本像のほか、大日如来坐像(鎌倉時代)、阿弥陀如来立像(鎌倉時代)や中尊寺経(平安時代)などの古写経を展示いたします。



薬師如来坐像 平安時代(12世紀) 木造・彫眼・彩色 一木割刻造 像高52.8cm



岡鹿之助《三色すみれ》 1966(昭和41)年 新収蔵・当館初公開  
 岡鹿之助《赤い花》 1963(昭和38)年

## 新収蔵

近代館では岡鹿之助《三色すみれ》をはじめ、スーラの最初期デッサン《ウェルギリウス》、ルドンの版画集『聖アントワヌの誘惑』より《XI.突然三人の女神が現れる》(岡鹿之助旧蔵)など新収蔵・当館初公開となる作品をご紹介します。これらの作品は、当館が所蔵する岡鹿之助《赤い花》とともに、染色家・志村ふくみのコレクターとしても知られる佐久間幸子氏が愛蔵したものです。小さいながらも、美しく輝く宝石箱のように愛らしい、新たなコレクションをどうぞお楽しみください。

## 仏教館・近代館 関連イベント

### ミニ講座

演題 お薬師さま入門 講師 田島整(当館主任学芸員)

日時 7/31(水)、9/7(土) 13:30~15:00

※各回とも同じ内容です 会場 上原美術館 近代館会議室

定員 各回40名 ※先着順、要予約・要入館券

参加方法 ①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④参加人数(2名様まで) ⑤参加希望日を明記の上、郵便はがき、もしくはEメール(info@uehara-museum.or.jp)にてお申込みください

### 学芸員による作品解説

日時 毎月第3土曜日 11:00~14:00~

仏教館・近代館 約30分ずつ 会場 上原美術館展示室

参加方法 当日、仏教館にお集まりください ※要入館券



- お車で 東名高速道路 沼津ICより 下田方面へ 1時間40分
- 鉄道・バスで 東京駅より特急踊り子号 2時間40分 伊豆急下田駅下車 同駅より堂ヶ島方面行バス 20分 相玉下車 徒歩15分

東洋と西洋の美の出あい

**上原美術館**  
Uehara Museum of Art

〒413-0715 静岡県下田市宇土金341  
Tel. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp